

第12章 教育委員会

1. 歴代教育長
2. 教育委員会委員
3. 教育委員会開催状況
4. 学校教育
5. 文化財

1. 歴代教育長

	氏 名	在 任 期 間
1	市 川 浩 一	昭和42年1月1日 ～ 昭和55年4月1日
2	大 熊 章 一	昭和55年4月2日 ～ 平成4年9月30日
3	磯 貝 謹 吾	平成4年10月1日 ～ 平成15年3月31日
4	萩 原 康 正	平成15年4月2日 ～ 平成20年9月30日
5	加 賀 谷 孝	平成20年10月1日 ～ 現 職

2. 教育委員会委員

	氏 名	就任年月日
委 員 長	綱 島 照 雄	平成23年10月1日
職務代理者	石 井 伸 一	平成25年4月1日
委 員	伊 藤 道 子	平成19年2月27日
〃	加 賀 谷 孝	平成20年10月1日

3. 教育委員会開催状況

平成25年度

会議	開催日	議案内訳件数							計
		条例・規則	規程等	予算	委員の委嘱	人事	教育方針等	その他	
第1回定例会	H25.4.17				1件				1件
第2回定例会	H25.5.15	1件			1件		1件		3件
第1回臨時会	H25.6.6							4件	4件
第3回定例会	H25.6.19				1件				1件
第4回定例会	H25.7.17				1件				1件
第2回臨時会	H25.8.6						1件		1件
第5回定例会	H25.8.21			1件					1件
第6回定例会	H25.9.18				1件				1件
第3回臨時会	H25.10.1					2件			2件
第7回定例会	H25.10.16						1件	1件	2件
第8回定例会	H25.11.20			1件			1件		2件
第4回臨時会	H25.12.12							4件	4件
第9回定例会	H25.12.16						1件		1件
第10回定例会	H26.1.15	1件			1件				2件
第5回臨時会	H26.2.7	1件		2件					3件
第11回定例会	H26.2.19								0件
第6回臨時会	H26.3.13					1件			1件
第12回定例会	H26.3.19	1件	1件				1件		3件
第7回臨時会	H26.3.20					1件			1件
		4件	1件	4件	6件	4件	6件	9件	34件

4. 学校教育

学校教育では、子どもたちの学力や学ぶ意欲の向上をめざし、基礎・基本の確実な定着を図り、自ら考える力など「確かな学力をはぐくむこと」が求められています。

この課題に向け、児童生徒の一人ひとりに「夢と希望・あこがれ」をいだかせるという観点に立ち、まず、教職員の資質能力の一層の向上を図り、一人ひとりを大切にされたきめ細かな指導をすること、学校・家庭・地域社会が一体となって、多様な体験活動や道徳教育・人権教育を充実させることが必要です。

また、国際理解教育では、外国の生活や文化・言語に興味を持ち、主体的に学ぶ意欲を高め、体育・健康に関する指導については、自己管理能力の向上を目指し、健康・安全・防災教育及び食に関する指導の充実を図らなければなりません。

また、不登校児童生徒等への対応、ノーマライゼーションの理念に対応した特別支援教育の推進、教育環境の整備その他、魅力ある学校づくりを目指します。

(重点目標)

- 1 教職員の資質能力を高め、学級経営・授業の充実を図ります。
- 2 道徳教育・人権教育の充実を図ります。
- 3 各学校の生徒指導体制・教育相談体制の充実を図ります。
- 4 国際理解教育、英語教育の充実を図ります。
- 5 特別支援教育の充実を図り、交流及び共同学習を進めます。
- 6 学校・家庭・地域社会が連携し、ともに歩む教育を進めます。
- 7 学校施設の計画的な改修、学校規模の適正化を図ります。
- 8 健やかな心と体づくりを進めます。(体力向上、食育、安全教育、防災教育)

(1) 学校施設の現況

平成26年5月1日現在

区 分	市 立	県 立	私 立	計
幼 稚 園	0	0	18	18
小 学 校	22	0	0	22
中 学 校	11	0	2	13
高 等 学 校	0	3	3	6
特別支援学校	0	1	0	1
大 学	0	0	2	2
計	33	4	25	62

小・中学校

平成26年5月1日現在

学校名	区分	創立 年月	学級数		計	児童・生徒数		計	教職 員数	校地面積	校舎面積	体育館面積	水泳プール	
			普通	特支		男	女						設置	面積
			学級	学級		学級	人						人	人
1. 大和田	明	6.4	23	2	25	372	365	737	34.5	10,721	4,372	1,069	昭49	180.0
2. 睦		6.5	10	0	10	130	126	256	16.5	14,321	4,036	836	49	260.0
3. 阿蘇		6.3	6	0	6	51	50	101	13.0	11,309	1,769	873	50	275.0
4. 村上		6.9	25	0	25	410	393	803	34.5	17,899	6,047	1,037	48	325.0
5. 八千代台	昭	32.4	13	4	17	238	183	421	28.0	15,716	6,189	1,042	41	275.0
6. 八千代台西		43.4	12	0	12	160	182	342	18.5	20,554	5,502	1,050	48	325.0
7. 勝田台		43.4	23	0	23	377	368	745	34.0	20,147	6,524	1,263	49	112.5
8. 勝田台南		45.4	12	2	14	153	174	327	20.5	22,320	4,567	1,050	48	325.0
9. 米本		45.9	6	0	6	65	71	136	12.0	18,521	5,643	1,041	47	325.0
10. 米本南		45.9	6	2	8	85	58	143	13.0	18,012	4,936	1,050	48	325.0
11. 西高津		46.4	18	0	18	243	266	509	24.5	24,250	5,654	1,045	48	325.0
12. 大和田南		47.4	21	0	21	341	327	668	28.5	24,493	4,939	1,125	49	325.0
13. 高津		47.4	21	3	24	324	362	686	32.0	17,900	5,238	1,038	48	325.0
14. 南高津		50.4	11	0	11	136	147	283	17.5	18,431	4,905	1,133	51	325.0
15. 村上東		51.4	26	0	26	423	418	841	35.5	18,506	5,054	1,045	51	325.0
16. 大和田西		53.4	32	0	32	540	498	1,038	42.5	17,899	5,561	1,062	54	325.0
17. 村上北		53.4	7	2	9	109	84	193	18.5	18,572	3,578	1,045	53	325.0
18. 新木戸		59.4	23	0	23	400	382	782	34.0	20,000	7,313	1,039	60	325.0
19. 萱田	平	4.4	29	1	30	493	466	959	41.5	25,078	8,365	1,000	平4	135.0
20. 萱田南		19.4	19	0	19	303	276	579	26.5	7,051	6,636	-	-	-
21. みどりが丘		22.4	12	0	12	153	151	304	17.5	26,107	7,681	1,545	平22	325.0
22. 八千代台東	昭	40.4	17	0	17	270	286	556	24.0	22,722	4,418	1,554	48	325.0
小計			372	16	388	5,776	5,633	11,409	567.0	410,529	118,927	22,942	-	6,112.5
中学校														
1. 八千代	昭	22.4	11	4	15	225	175	400	28.5	23,825	5,127	1,269	昭53	275.0
2. 睦		22.4	5	0	5	67	67	134	15.5	20,538	2,228	819	44	250.0
3. 阿蘇		22.4	7	1	8	111	114	225	19.0	30,482	5,819	1,358	45	275.0
4. 勝田台		43.4	9	3	12	173	174	347	25.0	32,538	5,864	1,235	49	325.0
5. 大和田		47.4	22	0	22	401	426	827	45.0	29,168	6,741	1,457	50	250.0
6. 高津		47.4	26	1	27	466	452	918	50.0	30,315	6,955	1,211	48	325.0
7. 八千代台西		50.4	12	0	12	191	216	407	25.0	19,335	5,898	1,173	63	325.0
8. 村上東		51.9	12	2	14	208	178	386	27.0	24,500	5,859	1,170	51	325.0
9. 東高津		60.4	9	0	9	139	116	255	21.0	24,033	4,470	1,115	60	325.0
10. 村上		60.4	12	0	12	206	197	403	25.0	24,500	4,423	1,143	60	325.0
11. 萱田	平	3.4	25	0	25	443	430	873	43.5	29,313	5,872	体 1,301 柔 499 部室 144	平3	325.0
小計			150	11	161	2,630	2,545	5,175	324.5	288,547	59,256	体 13,251 柔 499 部室 144	-	3,325.0
合計			522	27	549	8,406	8,178	16,584	891.5	699,076	178,183	体 36,193 柔 499 部室 144	-	9,437.5

※ 面積は、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律による。

(2) 平成25年度子どもサミット

① 趣 旨

未来を担う児童生徒が、地域社会の問題や将来性等について考え、地域社会の一員としての自覚と認識を深めるとともに、小・中学校が連携して地域社会に主体的に参加することを期する。

② 日 時

第8回子どもサミット 8月5日(月)
子どもサミット第2回中学生リーダー研修会 12月12・13日(木・金)

③ 会 場

第8回子どもサミット 八千代市総合生涯学習プラザ
子どもサミット第2回中学生リーダー研修会 八千代市少年自然の家

④ 参 加 者

第8回子どもサミット
・ 教育長、教育次長、教育委員
・ 市内小中学校代表児童生徒(小学校22校、中学校11校)
・ 子どもサミット実行委員、学校担当者
・ 保護者、各校校長等
・ 地域の方
子どもサミット第2回中学生リーダー研修会
・ 教育長、教育次長
・ 市内中学校代表生徒(中学校11校)
・ 子どもサミット実行委員、学校担当者
・ 各校校長等

⑤ 内 容

- 地域子ども会議
- 開会セレモニー
- 各地域活動報告
- 地域ディスカッション～地域の方と語ろう～
- 小・中学生交流タイム
- 全体ディスカッション
- 閉会セレモニー
- 「仲を深める～ケーキの飾り付けコンテスト」
- 「中学生リーダーとしてすべきこと～次年度共通テーマ決め」
- 「アジアの中学生に向けて～ビデオレター作り」
- 「研修をふりかえる」

(3) 学校給食

昭和29年に阿蘇小学校において完全給食が実施されたのをはじめとして、順次、各小学校で給食が実施されるようになりました。昭和45年9月には八千代市学校給食センターを開設し、小学校5校、中学校4校、計9校に給食が開始されました。平成25年4月から、高津調理場を廃止し、新たに西八千代調理場を開設、村上調理場と村上第2調理場とを一体化し、村上調理場としました。現在は共同調理場2施設と単独調理場4施設で1日あたり最大約17,000食を調理し、小学校22校、中学校11校の完全給食を実施しています。

A. 共同調理場方式

平成26年4月1日現在

調理場 区分	西八千代調理場	村上調理場
給食開始年月	平成25.4	昭和52.4
敷地面積	11,000.27㎡	3,067.81㎡
建物	5,952㎡	1,665㎡
給食対象	小学校 11校 中学校 7校	小学校 7校 中学校 4校
運搬車両	10台 (PFI)	3台 (委託)
職員	所長 1名 副主幹 1名 場長 1名 事務 5名 (4) 栄養士 5名 (1) 調理員 (PFI) 運転手 (PFI) 機械操作手 (PFI)	場長 1名 事務 2名 (1) 栄養士 2名 調理員 (委託) 運転手 (委託) 機械操作手 (委託)

B. 単独調理場方式

平成26年4月1日現在

小学校 区分	大和田	阿蘇	新木戸	萱田
完全給食開始年月	昭和38.2	昭和29.10	昭和59.4	平成4.4
給食室面積	266 ㎡	68 ㎡	320 ㎡	337 ㎡
職員	栄養士 1名 調理員8名 (5)	栄養士 1名 調理員4名 (3)	栄養士 1名 調理員9名 (5)	栄養士 1名 調理員8名 (4)

※ ()数字は再任用職員、臨時職員の内数

(4) 少年自然の家

① 施設の概要

開設年月日 昭和49年8月22日
 所在地 保品1060番地の2
 構造 鉄筋コンクリート造 地上3階
 敷地面積 26,437㎡
 延床面積 3,530㎡

1階 事務室・所長室・管理人室・保健室・体育室・食堂・厨房・ホール・浴室
 2階 プラネタリウム室・研修室・リーダー室・和室・ギャラリー
 3階 宿泊室（10人×20室）・引率者宿泊室（5人×2室）
 屋上 天体観測室（150mm天体望遠鏡）
 屋外 野鳥観察室・キャンプファイアー場・野外炊事場・運動広場・岩石観察園
 流水実験場・植物観察園・屋外トイレ・オリエンテーリングコース

② 利用状況

平成25年度

宿泊利用者	日帰利用者	プラネタリウム利用者	主催事業	合計 (延人数)
6,832人 (親子ふれあい 自然体験教室 92人除く)	2,791人	個人利用 1,077人 利用総数 7,363人	1,728人 (親子ふれあい 自然体験教室 92人含む)	12,428人

(5) 青少年センター

青少年センターは、関係の機関、団体、民間有識者などと連携を図り、青少年の非行防止活動を総合的、計画的に実践するとともに、健全育成を推進するための拠点です。

① 業務内容

1. 街頭補導活動

青少年の事故や非行を未然に防ぐため補導委員、学校警察連絡委員会の協力を得て、不良行為の少年を早期に発見し、注意・助言などの愛のひと声運動を推進します。

補導は次のような形態で行います。

- ・センター補導 センター職員による補導
- ・中央補導 センター職員と補導委員合同の補導
- ・地区補導 各地区ごとの補導委員による補導
- ・その他 広域列車補導、学校職員、警察との合同補導など

2. 青少年相談

青少年相談は、青少年の非行や怠学などの問題で困っている人（保護者など）からの相談に応じ、その解決のために援助をするものです。

相談内容により、必要に応じて児童相談所などの専門機関への連絡や紹介を行います。

3. 広報活動

非行防止や青少年を取り巻く社会環境浄化の啓発及び非行防止のための広報活動を行います。

4. 関係機関との連携

補導委員連絡協議会および学校警察連絡委員会などとの連携を図り、補導パトロールや情報交換を通して、地区の青少年の健全育成や非行防止を図ります。

② 街頭補導などの実施状況

・街頭補導実施状況

時間帯	回数	補 導 形 態				補 導 少 年 数		
		地 区 補 導	中 央 補 導	セ ン ター 補 導	学 校 そ の 他	男	女	計
午 前	122回	19回	17回	84回	2回	45人	42人	87人
午 後	312回	111回	45回	135回	21回	118人	78人	196人
薄 暮	30回	11回	0回	15回	4回	35人	13人	48人
夜 間	32回	16回	0回	5回	11回	2人	0人	2人
計	496回	157回	62回	239回	38回	200人	133人	333人

・補導少年の状況

単位：人

学 職 行 為	学 生								有 職 少 年		無 職 少 年		小 計		合 計
	小学生		中学生		高校生		その他		男	女	男	女	男	女	
	男	女	男	女	男	女	男	女							
喫 煙	0	0	1	0	7	3	0	0	4	0	6	1	18	4	22
怠 学	0	0	11	7	16	28	0	0	0	0	0	0	27	35	62
自転車の二人乗り	2	2	23	13	38	65	1	1	0	0	0	2	64	83	147
た む ろ	0	0	21	0	23	0	0	0	0	0	0	0	44	0	44
そ の 他	26	10	19	0	2	1	0	0	0	0	0	0	47	11	58
計	28	12	75	20	86	97	1	1	4	0	6	3	200	133	333

・青少年相談

単位：人

学 職 行 為	学 生								有 職 少 年		無 職 少 年		小 計		合 計
	小学生		中学生		高校生		その他		男	女	男	女	男	女	
	男	女	男	女	男	女	男	女							
生活の乱れ	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	4
シナー・薬物など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭内暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家出・無断外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
い じ め	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
不 登 校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	2	1	3	3	5	0	0	0	1	0	0	1	11	5	16
計	2	1	4	5	6	1	0	0	1	0	0	1	13	8	21

・青少年健全育成通報運動

単位：件

通報経路	青少年センターへの通報				直接警察へ 通報 (110番含む)	消 防 署 への通報	計
	小学校	中学校	高校	その他			
	46	66	8	51			
件 数	171				346	0	517

・主な通報の内容

単位：件

内 容	痴 漢 ・ 変 質 者	飲 酒 ・ 喫 煙	窃 盗 行 為	恐 喝 行 為	薬 物 乱 用	つ け 火 ・ 火 遊 び	暴 行 ・ 傷 害	暴 走 行 為	怠 学 ・ 怠 業	空 家 などの 無 断 侵 入	そ の 他	計
件 数	25	61	23	1	0	4	15	15	3	1	369	517

(6) 教育センター

教育センターでは、幼児、小・中・高校生及びその保護者等を対象として、家庭及び学校における適応上の諸問題について相談を受けています。

教育センターにおける教育相談受理状況（平成26年3月31日現在）

① 相談の件数

	対 象 者 (人)						依 頼 者 (人)						件 数 (件)			
	幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	大 学 生 他	小 計	父	母	本 人	家 族 他	教 員	小 計	電 話	面 接	メ ー ル	小 計
知能・学業	1	1	3	-	-	5	-	5	-	-	-	5	4	1	-	5
性格・行動	-	14	7	1	1	23	1	18	1	2	4	26	18	5	-	23
進路・適性	-	9	4	4	-	17	1	14	1	1	-	17	14	3	-	17
情 緒	1	1	-	-	-	2	-	1	-	-	1	2	1	1	-	2
不 登 校	-	8	5	4	-	17	2	11	2	4	-	19	10	7	-	17
非 行	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
友人関係	-	7	1	1	-	9	1	3	1	2	5	12	2	7	-	9
部 活 動	-	-	2	1	-	3	-	4	1	-	-	5	3	-	-	3
学校不信	-	4	3	1	-	8	-	6	1	-	-	7	5	3	-	8
い じ め	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	2	12	1	3	2	20	1	14	-	2	3	20	12	7	-	19
合 計	4	56	26	15	3	104	6	76	7	11	13	113	69	34	-	103

② 相談の種類

	相談方法 (件)			相 談 者 (人)		
	電 話	面 接	メー ル	親	当 事 者	そ の 他
教育相談	56	21	-	62	6	14
一般相談	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-
合 計	56	21	-	62	6	14

(7) 適応支援センター

適応支援センターは、不登校児童生徒の学校復帰を支援すること、将来的に自立する力を身につけさせることを目的としています。

業務内容

1. 保護者・児童生徒・教職員の相談による支援

不登校の悩みを持つ保護者・児童生徒・教職員からの相談を受けています。

○相談件数

相談者	児童・生徒	教職員	関係機関	保護者	合計
来所	34	4	1	59	98
電話	0	35	12	71	118
合計	34	39	13	130	216

2. 通所による支援

不登校の悩みを抱えた小学生・中学生を対象に、通所による支援を行います。

○通所状況

	中学校	小学校	合計
男	11	5	16
女	17	3	20
合計	28	8	36

3. 訪問相談による支援

不登校児童・生徒のうち、引きこもりの傾向があり、相談機関等へ出向くことができない者を対象に、訪問相談を行っています。

○訪問相談状況

	中学校	小学校	合計
男	0	0	0
女	1	0	1
合計	1	0	1

4. カウンセリングによる支援

カウンセラーによる相談活動・カウンセリングを年間通して行っています。

○カウンセリング実施状況

	中学校	小学校	合計
保護者	7	15	22
本人	11	3	14
合計	18	18	36

5. 文化財

開発が多い本市にあつては、急激な生活環境の変化に伴い、暮らしの中で残されてきた行事や社会のなかで大切に保存されてきた文化財が次第に忘失し、散逸し、破壊されつつあります。これを防止し、文化遺産を保護するために昭和46年4月に八千代市文化財保護条例を制定し、文化財の市指定をとおして保護、普及に努めてきました。

さらに、未指定の文化財についても保護活用すべく、その所在確認や調査研究などの文化財調査を実施しています。

また、市内で行われる開発事業等の土木工事に先行して、埋蔵文化財の所在の確認や、記録保存のための発掘調査を行っています。発掘調査の記録類は、整理して報告書にまとめ、遺跡と出土文化財の保存と活用に役立てています。これらの事業の成果は、埋蔵文化財通信の発行や各展示会の開催、各講座への講師派遣をとおして、積極的な普及に努めています。

文化財保護

- ①市指定文化財への補助金の交付 23件(経常的保護・管理 21件・臨時的修繕 2件)
- ②文化財審議会の開催 2回
- ③指定文化財説明板修繕 1件
- ④指定文化財の現状確認調査の実施 15日間, 25件
- ⑤指定文化財防火・防犯設備等状況調査
- ⑥文化財調査 4件

埋蔵文化財保護

- ①所在及び取扱い確認 85件
- ②試掘調査 22件(文化財保護普及事業 21件、公共事業関連調査事業 1件)
- ③確認調査 20件(文化財保護普及事業 19件、民間開発等調査事業 1件)
- ④本調査 4件(不特定遺跡調査事業 1件、民間開発等調査事業 3件)
- ⑤発掘調査報告書の刊行 3件
 - 「市内遺跡発掘調査報告書 平成25年度」
 - 「公共事業関連遺跡発掘調査報告書VI」
 - 「堰場台遺跡 a 地点発掘調査報告書」

啓発・普及

- ①埋蔵文化財通信「埋やちよ」28号・29号の発行
- ②出土文化財展示会 4回(計11日間)開催 564名参加
- ③まちづくりふれあい講座 1回 23名参加
- ④北西部地区文化財発表会 169名参加
- ⑤北西部地区文化財発表会関連展示 八千代市立郷土博物館 期間中の来館者 3,071名
- ⑥中学生職場体験 中学2年生4名

県・市指定文化財一覧

No.	種 類 (細 分)	名 称	所有者又は 伝 承 者	指定年月日	員数
県1	有形文化財 (彫 刻)	木造釈迦如来立像 附・木造舍利塔	正覚院	昭和 35. 6. 3	1 軀 1 基
県2	民俗文化財 (無形民俗文化財)	下総三山の七年祭り	七年まつり 保存会	平成 16. 3. 30	1 件
市1	民俗文化財 (無形民俗文化財)	佐山の獅子舞	佐山獅子舞 保存会	昭和 47. 2. 22	1 件
市2	民俗文化財 (無形民俗文化財)	村上の神楽	村上神楽 保存会	47. 2. 22	1 件
市3	民俗文化財 (無形民俗文化財)	勝田の獅子舞	勝田大同団	51. 8. 13	1 件
市4	有形文化財 (建 造 物)	正覚院釈迦堂 附・厨子	正覚院	52. 12. 10	1 棟 1 基
市5	有形文化財 (建 造 物)	宝 篋 印 塔	正覚院	53. 11. 11	1 基
市6	有形文化財 (歴 史 資 料)	羯 鼓	村上神楽 保存会	53. 11. 11	1 口
市7	有形文化財 (歴 史 資 料)	下総国印旛沼御普請堀割絵図 附・安永9年文書・天明3年文書	個 人	53. 11. 11	1 葉 2 冊
市8	民俗文化財 (有形民俗文化財)	戒 壇 石 (銘・禁芸術売買之輩)	長福寺	53. 11. 11	1 基
市9	記念物 (史 跡)	七 百 餘 所 神 社 古 墳	七 百 餘 所 神 社	53. 11. 11	1 基
市10	記念物 (史 跡)	根 上 神 社 古 墳	根上神社	53. 11. 11	1 基
市11	有形文化財 (彫 刻)	す わ り 地 蔵	米 本 区	53. 12. 13	1 軀
市12	民俗文化財 (有形民俗文化財)	下 総 式 板 碑	神 野 区	53. 12. 13	1 基
市13	民俗文化財 (有形民俗文化財)	雨 乞 い 祈 禱 の 絵 馬	飯 綱 神 社	56. 12. 21	1 面
市14	民俗文化財 (有形民俗文化財)	伝・村上綱清の墓石	長 福 寺	56. 12. 21	1 基
市15	民俗文化財 (有形民俗文化財)	長 福 寺 の 板 碑 一 括	長 福 寺	56. 12. 21	1 括
市16	民俗文化財 (有形民俗文化財)	神 馬 の 絵 馬	飯 綱 神 社	56. 12. 21	1 面
市17	民俗文化財 (有形民俗文化財)	飯 綱 神 社 の 玉 垣 彫 物	飯 綱 神 社	56. 12. 21	25 葉

No.	種 類 (細 分)	名 称	所有者又は 伝 承 者	指定年月日	員数
市18	有形文化財 (建 造 物)	飯綱神社鐘楼 附・再建棟札	飯 綱 神 社	63.7.1	1棟 1枚
市19	有形文化財 (建 造 物)	飯綱神社本殿 附・棟札1枚、拝殿1棟、玉垣1棟、参道石段58級 附・石坂供養塔1基・石階再建勸化帳1冊	飯 綱 神 社	平成 4.6.25	1棟 他
市20	記 念 物 (天然記念物)	イ ヌ ザ ク ラ	浅間神社	6.12.26	1樹
市21	有形文化財 (建 造 物)	米本稻荷神社本殿 附・鳥居1基・手洗い鉢1基・再建寄付連名碑1基	稻 荷 神 社	8.4.1	1棟 他
市22	有形文化財 (歴史資料)	天保七年米本村絵図	個 人	12.12.22	1葉
市23	民俗文化財 (無形民俗文化財)	高津のハツカビシヤ	高津自治会 特別委員会	15.1.24	1件
市24	民俗文化財 (無形民俗文化財)	高津新田のカラスビシヤ	高津新田のカラスビシヤ保存会	15.1.24	1件
市25	有形文化財 (考古資料)	石 枕	八千代市	20.1.18	1箇

八千代市立郷土博物館

「新川流域の自然と人々とのかかわりの変遷」をメインテーマとし、考古・歴史・民俗・産業・自然などの展示を行う総合的な博物館です。さまざまな講座や企画展の開催を通して、学校・市民の学習や地域振興の場としての役割を果たしています。

名 称	八千代市立郷土博物館
所 在 地	八千代市村上1170番地2 (☎484-9011 FAX482-9041)
開設年月日	平成5年5月15日
敷地面積	4,992.400 m ²
建築面積	2,230.989 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建 (一部2階建)
開館時間	午前9時00分～午後4時30分
休 館 日	月曜日 (国民の祝日・休日の場合は直近の翌平日) 年末年始 (12月26日から翌年の1月4日まで)
職 員	12名 (常勤職員5名、非常勤職員7名)
施設内容	展示部門 展示ホール・常設展示室・企画展示室・ラウンジ 学習部門 学習室・工作室 管理・研究・収蔵部門 事務室・学芸員室・研究室・荷解室・収蔵室・図書資料室
事業内容	常設展示 「新川流域の自然と人々とのかかわりの変遷」 企画展示 自然・歴史・考古・民俗などをテーマに行います。 講演会 企画展に関連したテーマや、八千代の自然・歴史・文化などに関して外部講師・館職員が講演します。 講 座 子どもから大人までを対象にした、自然・歴史・文化に関する観察会や体験講座などを行います。 学校対応 小・中・高等学校の要請を受け、出前講座や体験学習などを行います。また、大学の学芸員資格取得の実習受け入れや、大学の博物館学などの授業における施設見学も受け入れています。 高齢者対応 関係施設や団体等に対しては、お申し出により学芸職員の展示説明を行います。 ※バリアフリー・貸出用車椅子・車椅子用トイレ完備

平成25年度利用状況

利 用 者 数	28,733人
---------	---------